令和８年度　諫早市立西諫早中学校　学校便り　第9号

【学校HP】

# 『共創』

校訓：躍動・責任・勤勉

学校教育目標：自他を認め、高め合い、『共創』する生徒の育成

令和８年１１月１８日

校長　西山　敏明

## 結果の先にある成長へ ― ２学期の締めくくりに向けて ―

２学期末テストが終了し、採点されたテストの返却が進んでいます。点数を見て友達と喜び合ったり、少し肩を落としたりと、結果に一喜一憂する姿には、今も昔も変わらない中学生の微笑ましくも真剣な姿があります。テストという大きな節目を終え、いよいよ２学期のまとめの時期に入りました。ひと息つきたいところですが、この時期の油断は禁物です。テスト後の解放感から授業への集中が途切れてしまうと、これから学ぶ大切な内容が身につかないまま冬休みを迎えることになってしまいます。

返却された答案は点数だけを見るのではなく、「今の自分に何が足りないのか」を冷静に分析し、弱点を克服するための大切な材料にしてください。

３年生にとっては、一人ひとりの進路実現に向けた「受験本番」へのカウントダウンが始まります。結果だけに一喜一憂せず、日々の授業の１時間１時間を大切に積み重ねることが、確かな自信へとつながっていくはずです。

朝晩の冷え込みが厳しくなり、体調を崩しやすい季節です。ご家庭でもテストの結果を話題にしつつ、２学期の締めくくりに向けて生活リズムを整え、落ち着いて学習に取り組めるよう温かいお声がけをお願いいたします。

## 仲間とつないだ絆のタスキ！県中総体駅伝で女子チームが７位

１１月１２日（木）、長崎県立総合運動公園陸上競技場周回コースで行われた県中学校総合体育大会駅伝競走大会において、**本校女子チームが全３１チーム中、堂々の７位**という素晴らしい成績を収めました。夏場からの厳しい練習を乗り越え、当日は走った選手もサポートに回った控えの部員も、チーム一丸となってタスキをつなぎ抜く姿に大きな感動をもらいました。これまで温かく支えてくださった保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。この経験で培った絆を糧に、今後のさらなる活躍を期待しています。










## １２月３日（木）「人権集会」のご案内 ― オフクロッツ 講話と演奏―

１２月１０日は、１９４８年の国連総会で「世界人権宣言」が採択された「世界人権デー」です。日本ではこの日を最終日とする１２月４日～１０日を「人権週間」と定めています。

本校ではこれに先立ち、１２月３日（木）に「人権集会」を開催します。長崎県内外で人権ライブなどの活動を行っている音楽ユニット 「オフクロッツ」をお招きし、人権講話と演奏（ＬＩＶＥ）をしていただきます。音楽と温かいお話を通して、互いの違いを認め合い、思いやりの心をもって行動することの大切さを全校生徒で考えます。

保護者の皆様も、ご都合がつきましたら、お気軽にご参観ください。

【日　時】１２月３日（木） １３時25分～１５時００分

【場　所】本校体育館　【駐車場】運動場

## 学習活動における生成ＡＩの活用について

最近、「生成AI」という言葉を耳にする機会が増えてきました。質問に答えてくれたり、文章やアイデアを考えてくれたりする便利な技術です。これからの社会では、子どもたちにとっても、身近なものになっていくことでしょう。

そこで本校では、１０月２０日付け安心メール送信文書でもお知らせしましたとおり、市教育委員会の許可を得て、学習活動の中で必要に応じて、**対話型生成AI「Google Gemini（ジェミニ）」**を活用することにしました。例えば、学習発表会の原稿をよりよくするためのヒントをもらったり、グループで話し合うときのアイデアを出してもらったり、修学旅行の自主研修コースを考えたりする場面で活用します。

もちろん、AIが出した答えがいつも正しいとは限りません。また、AIに頼りすぎて、自分で考えることを忘れてしまっては意味がありません。

**【まずは自分で考える。】そして、【AIの意見も参考にしながら、もう一度考えてみる。】**そのような使い方を大切にしたいと考えています。

これからの時代、AIを上手に活用する力とともに、情報を見極め、自分で考え、判断する力がますます重要になります。

新しい技術をただ使うのではなく、自分の可能性を広げ、学びを深めるための道具として活用できるよう、学校でも指導していきます。

ご家庭でも、ぜひ話題にしていただければと思います。



全教職員で事前研修を実施



全学級生徒の生成AI活用事前学習

## スマホやネットの「情報のかたより」に気をつけよう
### ～「フィルターバブル」と「エコーチェンバー」を知っていますか？～

デジタル社会を生きる子どもたちにとって、スマートフォンやSNSは身近で便利な情報ツールです。しかし、そこには「情報のかたより」という落とし穴もあります。




**１．見たい情報だけに包まれる「フィルターバブル」**

検索履歴などから自分の好みに合った情報ばかりが表示され、異なる考えに触れにくくなる現象です。

**２．同じ意見が響き渡る「エコーチェンバー」**

SNSで自分と似た意見ばかりに触れていると、反響室（エコーチェンバー）のように同じ考えが繰り返され、自分の意見が正しいと思い込み、異なる意見を受け入れにくくなる危険性があります。




これらは決して特別なことではなく、**大人はもちろん、中学生の身にも日々起きています。**偏った情報ばかりに触れていると、一歩引いて冷静に判断する力や、多様な考えを受け入れる柔軟性が失われてしまう恐れがあります。

**次の2点を大切にしましょう。**

**○「本当かな？」と一度立ち止まって確かめる（別の情報源やニュースでも調べる）**

**○「違う意見を持つ人の理由」にも耳を傾ける（多様な視点を大切にする）**

インターネットを上手に活用するためには、情報をうのみにせず、幅広い視点をもち、自分で考え、判断する力が大切です。